

ミマキ電子部品株式会社

■平成24年度テーマ

小型画像認識装置の開発

■平成24年度概要

小型被認識媒体の画像認識において、高細精度の画像認識のためには、受光素子の高密度実装が課題となっている。そこで、これらの課題を解決するために受光素子を高密度実装し、高細精度を実現させ、小型画像認識市場の獲得を目指す。

■平成24年度分類

- ＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資
- ＜競争力強化の形態＞ ニッチ分野特化型
- ＜22分野技術＞ 電子部品・デバイスの実装

■事業の概要と成果

小型被認識媒体の画像認識において、高細精度の画像認識のために、受光素子の高密度実装を目指した。そこで、これらの課題を解決するために新たな機械装置の導入等により、受光素子を高密度実装し、高細精度を実現させ、小型画像認識市場獲得の足がかりができた。

■平成25年度テーマ

深紫外LEDの開発

■平成25年度概要

環境・医療・バイオサイエンス向けに使用される深紫外線領域の光源を従来の水銀ランプから発光ダイオード(LED)に置き換えることにより、省エネ・光源の小型化・高効率化が可能となり、新たな市場を創造できる。

■平成25年度分類

- ＜対象類型＞ 【ものづくり技術】
接合・実装
バイオ
- ＜事業類型＞ 成長分野型
試作開発＋設備投資
環境・エネルギー・健康・医療

■事業の概要と成果

深紫外線LEDの開発により、環境・医療・バイオサイエンス向けに使用される深紫外線領域の光源を従来の水銀ランプから発光ダイオード(LED)に置き換えることができた。省エネ・光源の小型化・高効率化が可能となり、新たな市場を創造できつつある。

好機逸すべからず

本ページの内容は、中小企業レポート2014年2月号に掲載したものです。

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

ミマキ電子部品株式会社（東御市）

半導体、生産技術、光技術、実装技術のコラボレーションによる
自社製品開発を積極的に進め、海外市場をめざす。

高い技術開発力で 自社製品開発を進める

ものづくりの海外移転が続く中、自社開発力の強化により下請けから脱皮し、独自市場の開拓をめざす中小企業があります。ミマキ電子部品もそのひとつです。

同社は水晶振動子事業部、ダイオード事業部、実装事業部、光部品事業部、伝送システム事業部、ハーメチックシール（HS）事業部、エコライティング事業部の7事業部から成り、それぞれ開発から製造まで高い技術力を誇っています。

「当社が取り組むのは、半導体、生産技術、光技術、実装技術という、世界がしのぎを削る技術分野。この4つのコラボレーションによる自社製品開発を進め、海外も含めた販売マーケティング体制を構築していきたいと考えています」。

そう話す高野紘社長は、同社が設立した光通信関連部品開発メーカー「株式会社オプトハブ」の社長からの転身です。光通信や各種光センシングなどの分野で広く応用されるマイクロオプティクスをコア技術に持つオプトハブの高い技術開発力を取り込み、同社の自社開発力強化につなげる戦略の舵取りを担っています。

同社は現在、「自主事業」と、「受託・下請け事業」を行っていますが、今後は戦略的に開発を進めながら自主事業の比率をより高め、業績を伸ばしていく計画です。

グローバルな視野で最先端に取り組む

その取り組み成果のひとつが、現金自動受払機（ATM）に搭載される小型画像認識装置の開発です。ものづくり補助金を活用した設備投資で高精度・高密度実装を実現し、高精細度の画像認識と真偽識別性能を高め、大幅なコストダウンを図りました。同社では世界4社のATM製造メーカーすべてに納入をめざすとともに、装

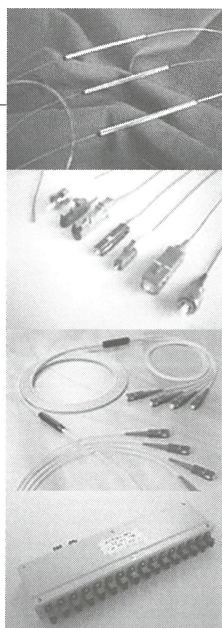
置のキーデバイスであるCMOSイメージセンサの自社開発にも取り組んでいます。

また、産業用レーザー光源では大手企業と、医療用では東北大学と共同開発を進めるなど、光学技術分野を中心に産学連携による最先端の開発も積極的に行っています。

つねに最先端の技術分野に挑戦する同社にとって、カギを握るのは技術力のレベルアップ。「一人前になるには10年かかる」という技術者教育に力を入れ、社員一人ひとりのポテンシャルアップにも積極的に取り組んでいます。

海外出張の多さもその一環です。同社は中国昆山に現地法人（工場）を展開し、開発・製造に必要なパーツ類は世界のマーケットから調達するだけに、グローバルな視野は必須。高野社長は「社員は海外の工場や取引先にどんどん行かせます。語学力も実践で身につけられますから」と話します。

「日本に残る技術分野を見極め、それぞれで最先端をいく独自開発に取り組んでいきたい。でないと生き残れませんから」。高野社長の視線はまっすぐ世界を向いています。



ミマキ電子部品株式会社

代表者 代表取締役社長 高野 紘
創業 1989（平成元）年4月
資本金 7,600万円 従業員数 280人
本社 東御市滋野乙1382-1



TEL 0268-64-3218 FAX 0268-64-2669
事業内容 水晶振動子用気密端子・ダイオード・高密度実装デバイスの製造、光通信部品・光伝送装置・ハーメチックシール・LED関連部品の開発・製造・販売